

本書は、入退室管理システム デイリPLUS(以下デイリPLUSと表わします)のコンパクトフラッシュ交換によるバージョンアップの手順を記載したものです。

本書は、以下の条件のデイリPLUSに適用可能です。

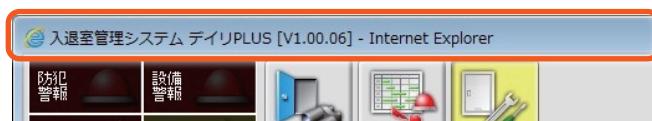
項目	要件
ソフトバージョン	1.00.06以上
ネットワーク2 IPアドレス	192.168.0.245
ネットワーク1 IPアドレス	未使用(0.0.0.0)

## 事前確認

### ①バージョンの確認

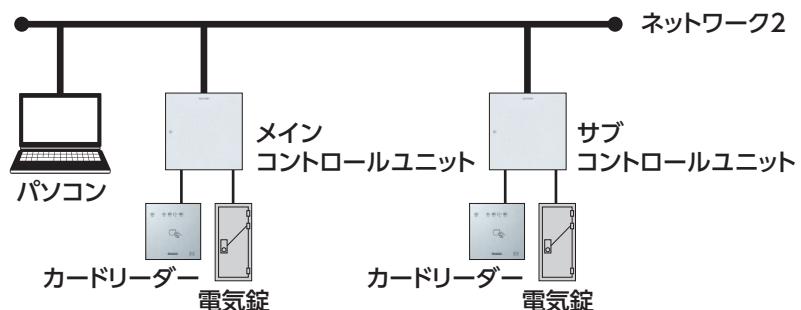
デイリPLUSのバージョンが**1.00.06以上**であることを確認してください。

バージョンは、お使いの画面のタイトルバーに表示されています。

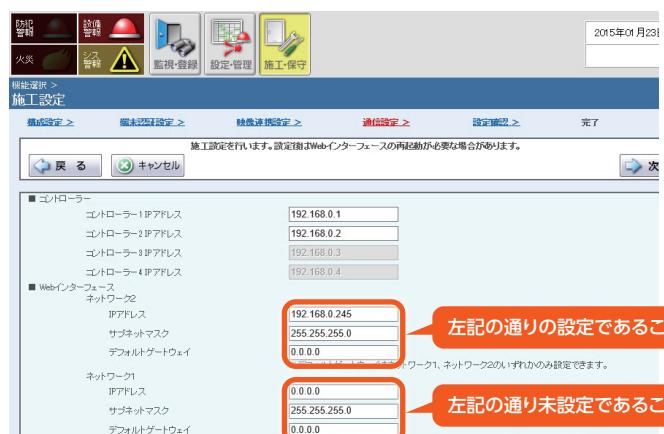


### ②ネットワーク(IPアドレス)の確認

デイリPLUSに設定しているIPアドレスにより、作業手順が異なりますので、以下の内容を確認してください。



施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、施工設定画面の通信設定が右記のように工場出荷時の設定であることを確認してください。



デイリPLUSのバージョンアップにあたり以下の注意事項がありますので、事前にご確認ください。

#### 注意事項

**①納入後7年以上経過しているコントロールユニットは、  
アップデートできません。リプレイスを検討ください。**

**②バージョンアップのためのコンパクトフラッシュは、事前にご購入ください。**

品番：E-A530-Z0001

デイリPLUSをご購入頂いた業者または施工店にご用命ください。

**③過去履歴は移行できません。**

過去履歴(直近の1万件以前の履歴)は移行できません。必要な場合は、事前にCSVファイルに出力・保存してください。

取扱説明書 操作画面編の「5.4 過去履歴検索・表示」を参照ください。

**④作業中、カード認証・電気錠の施解錠が行えません。**

メインコントロールユニットの電源をOFFしている間、メインコントロールユニットに接続されたカードリーダー、電気錠が動作しません。また、電気錠の種類によっては解錠状態になります。(通常時施錠型の電気錠の場合、解錠されます)

**⑤取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。**

デイリPLUSに同梱されている取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。

作業に必要なログインユーザー名、パスワードが記載されています。

バージョンアップ手順

1

## システムデータ取得

### システムデータを取得します。

施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、システムデータを取得します。  
設定・管理メニューの「システムデータバックアップ」アイコン(図1)をクリックし、  
システムデータをバックアップ(ファイル保存)してください(図2)。

作業目安:8~20分



図1 設定・管理メニュー

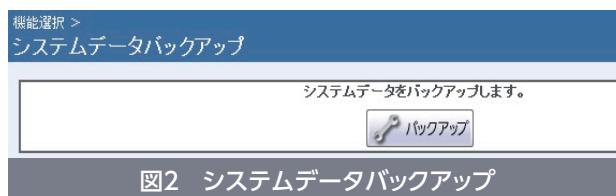


図2 システムデータバックアップ

2

2-1

## コンパクトフラッシュの交換

### 「設定・管理」の「再起動・終了」よりシステム終了します。

「設定・管理」メニューの「再起動・終了」アイコン(図1)をクリックし、「終了」(図3)をクリックします。

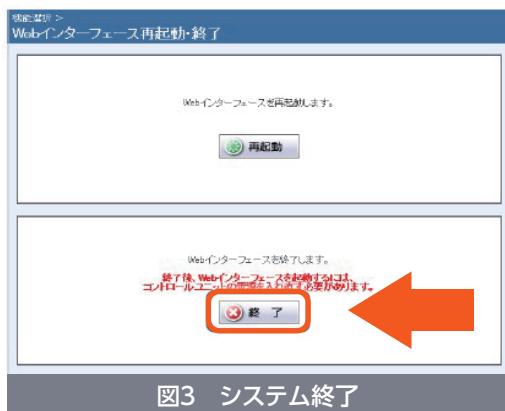


図3 システム終了

**2-2**

メインコントロールユニットの扉を開け、メモリバックアップ電池・停電補償電池のコネクターを抜きます。メモリバックアップ電池は、2-6.で2分以上空けてから繋ぎます。

写真1の○印のコネクターを抜きます。

×印の電池は抜かないでください。

メインコントロールユニットだけの作業です。

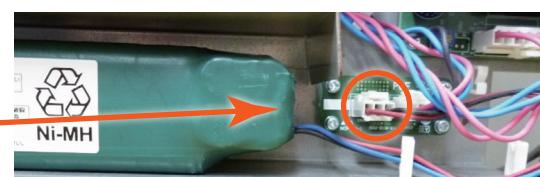
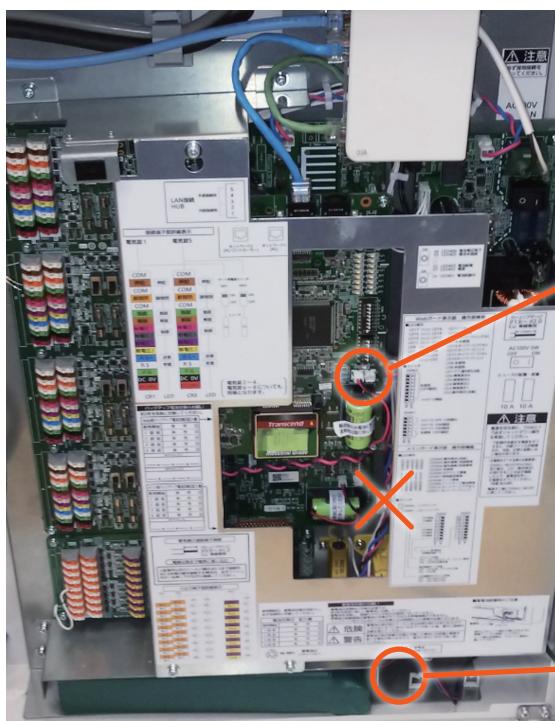


写真1 電池

**2-3**

パソコンとつながっているLANケーブルをHUBから外し、ネットワーク2コネクタに接続します。(元々接続されているLANケーブルは抜きます。)

3-4.で元に戻しますので、LANケーブルの接続状態の写真を撮っておくことをお勧めします。

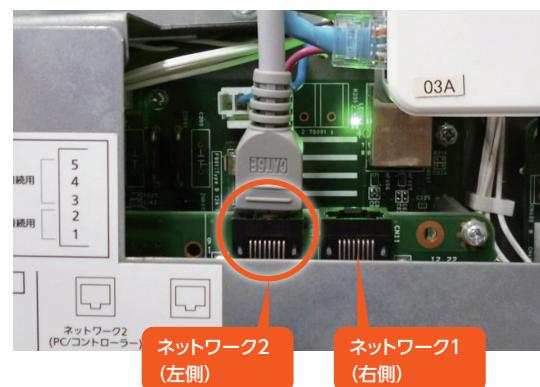
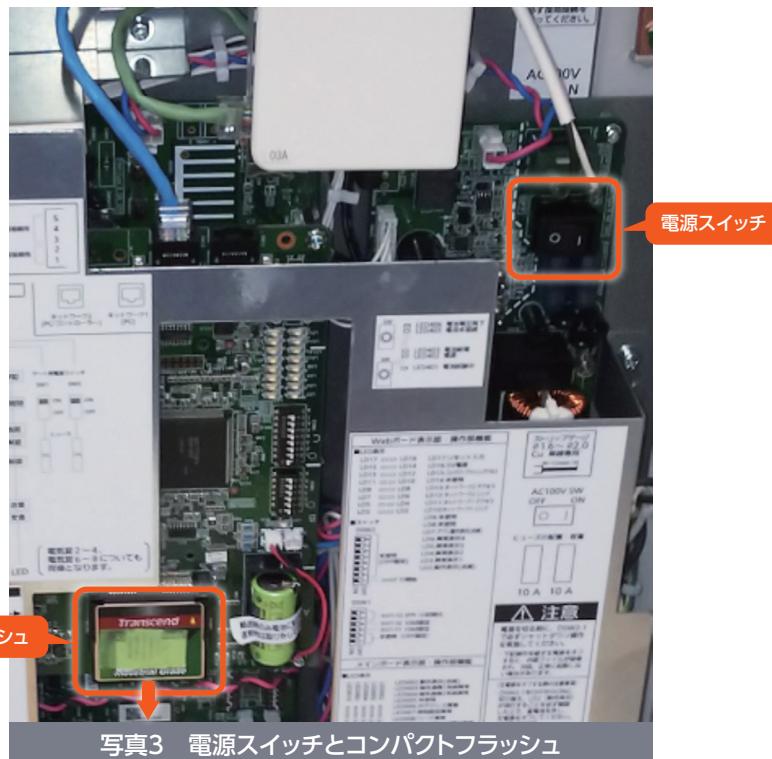


写真2 LANケーブル

## 2-4

メインボードの電源スイッチをOFFします。

写真3の電源スイッチをOFFします。



## 2-5

コンパクトフラッシュ(CF)を交換します。

写真3のコンパクトフラッシュを、両側のCFスロットガイドに沿って真下にゆっくり引き抜きます。次に新しく購入したコンパクトフラッシュを両側のCFスロットガイドに沿って真下からゆっくり挿し込みます。

この時、本体側のCFスロットガイドやガイドピンを折らない(曲げない)ように慎重にまっすぐ挿し込んでください。

## 2-6

2-2.で抜いた停電補償電池・メモリバックアップ電池のコネクターを挿します。

挿し込む順番はありませんが、メモリバックアップ電池は、抜いてから必ず2分以上あけてから挿してください。

## 2-7

メインボードの電源スイッチをONします。

写真3の電源スイッチをONします。

## 3

## 3-1

## システムデータの復旧

再起動の完了(約3~5分)を待ち、パソコンより施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)します。



正しく画面が表示されない場合は、Microsoft Edgeの設定画面にて、「閲覧データをクリア」[Internet Explorerの閲覧データをクリアする]を実施してください。  
(付録2参照)

## 3-2

## 「施工・保守」の「時計設定」(図4)で日時を設定します。

2015年1月1日0:00になりますので、必ず現在日時に設定してください。パソコンの時計が合っていれば、「パソコンの年月日時刻を取得して入力」をクリックし、設定すると便利です。



### 3-3

「施工・保守」の「システムデータリストア」(図6)でシステムデータを復元します。

画面の指示に従って、1.システムデータ取得で保存したファイル(sys\_backup.tar.gz)をアップロード→リストア→再起動してください。

作業目安:5~10分



図6 システムデータリストア



図7 再起動画面

『他の処理を実行中ですが、Webインターフェースを再起動します。よろしいですか?』というメッセージが出た場合は、「OK」を押してください。

### 3-4

再起動が完了(約3~5分)し、ログイン可能になったら、  
メインボード、他のコントロールユニットと  
接続しているLANケーブルを  
元通り接続します。

2-3.で繋ぎ変えたLANケーブルを元に戻します。  
メインコントロールユニットの扉を閉めてください。



写真4 LANケーブル

# 4

## 4-1

### 動作確認

「施工・保守」メニューのコントローラー管理(図8)の画面を開き、接続状態と設定データがOKになることを確認してください。  
「状態更新」ボタンで表示を更新します。

作業目安:5~20分



		状態更新			
選択	ユニット番号	名称	コントローラー種別	接続状態	設定データ
<input type="checkbox"/>	001	コントローラー1	電気錠CTL	OK	OK
<input type="checkbox"/>	002	コントローラー2	電気錠CTL	OK	OK

図9 コントローラー管理の確認

## 4-2

「監視・登録」メニューの警報画面(図10)を開き、異常が発生していない(CTL通信異常、タンパ異常等が復旧している)ことを確認してください。



## 4-3

「監視・登録」メニューの最新履歴(図10)画面を開き、履歴が記録されていることを確認してください。

## 4-4

「施工・保守」メニューのメンテナンスモード画面(図11)を開き、メンテナンスモードを無効化します。



## 5

### 5-1

#### Microsoft Edgeの設定

(従来のPCを継続利用する場合)  
現在Microsoft EdgeのIEモードで使用中の場合は、別紙 IEモード解除手順書を参照いただき、解除します。

### 5-2

(従来のPCを継続する場合、新しいPCを使用する場合共通)  
別紙 Microsoft Edge設定手順書を参照いただき、ブラウザ設定を実施します。

以上

#### 付録1

#### 施工・保守用のオペレータIDでログインできない場合、 「施工・保守」メニューが表示されない場合

取扱説明書(導入ガイド)の「4.2.2 作業用パソコンからWebインターフェースへのアクセス」に記載された  
オペレータIDとパスワードでログインする必要があります。

このオペレータでログインするにはメンテナスマード起動中になっている必要があります。メンテナスマード  
モードになっている場合は、画面右上の日時表示の下にメンテナスマード起動中と表示されます。(警報発  
生中は表示されません)



図13 メンテナスマード

メンテナスマード起動中となっていない場合は、システム管理者でログインし、「設定・管理」メニュー  
のメンテナスマード画面よりメンテナスマードの有効化を行ってください。

システム管理者の初期登録は、取扱説明書(導入ガイド)の「6 基本操作」に記載しています。

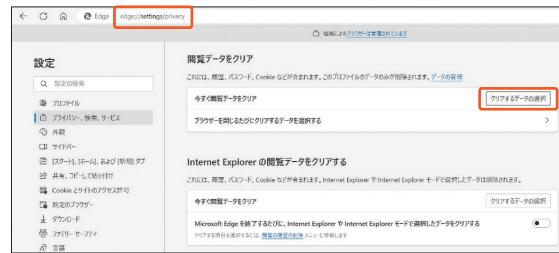
## 付録2 正しく画面が表示されない場合

Microsoft Edgeの設定画面にて、「閲覧データをクリア」「Internet Explorerの閲覧データをクリアする」を実施してください。

### Internet Explorerのキャッシュクリア・Microsoft Edgeのキャッシュクリア

#### Microsoft Edgeのキャッシュクリア

- 01** Microsoft Edgeを起動してURL欄に「edge://settings/privacy」を入力し、Enterキーを押す。  
閲覧データをクリアで、「クリアするデータの選択」を押す。



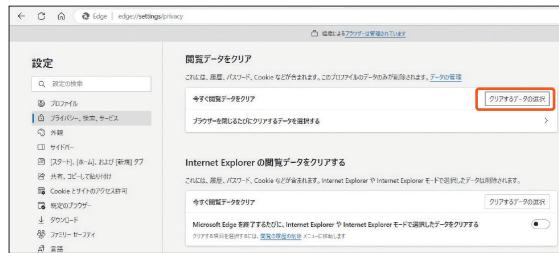
- 02** 時間の範囲で、「すべての期間」を選択する

- ・「閲覧の履歴」のチェックを外す
- ・「ダウンロードの履歴」にチェックを付ける
- ・「Cookieおよびその他のサイトデータ」にチェックを付ける
- ・「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを付ける
- ・「パスワード」にチェックを付ける
- ・「オートフィルフォームデータ(フォームやカードを含む)」にチェックを付ける
- ・「サイトのアクセス許可」にチェックを付ける
- ・「以前のバージョンのMicrosoft Edgeのすべてのデータ」にチェックを付ける
- ・「メディアファンデーションデータ」にチェックを付ける

「今すぐクリア」を押す

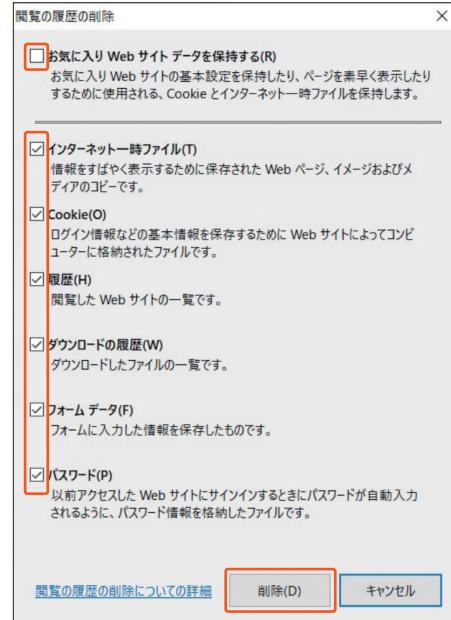


- 03** 01と同じ画面のInternet Explorerの閲覧データをクリアするで、「クリアするデータの選択」を押す



## 04

- ・「お気に入りWebサイトデータを保持する(R)」のチェックを外す
  - ・「インターネット一時ファイル(T)」にチェックを付ける
  - ・「Cookie(O)」にチェックを付ける
  - ・「履歴(H)」にチェックを付ける
  - ・「ダウンロードの履歴(W)」にチェックを付ける
  - ・「フォームデータ(F)」にチェックを付ける
  - ・「パスワード(P)」にチェックを付ける
- 「削除(D)」を押す



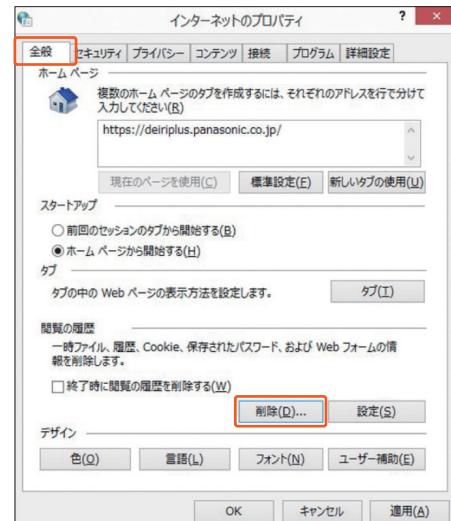
## Internet Explorerのキャッシュクリア手順

## 05

- Windowsのデスクトップでスタートボタンを右クリック(Windows7の場合は、クリック)し、メニューから「コントロールパネル」を開き、以下を開く(「ネットワークとインターネット」→)「インターネットオプション」
- ・Windows10 RS2 以降は、スタートメニューの Windowsシステムツール内の「コントロールパネル」を開きます。

## 06

- 「全般」タブの[削除]を押す



## 07

- 「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」にチェックを入れる

## 08

- 「お気に入りWebサイトデータを保持する」のチェックを外す

## 09

- [削除]を押す

## 10

- [OK]を押す

## 11

- 「コントロールパネル」画面右上隅の[X]を押し、設定を終了する

